

滋賀県病院協会報



発行所
滋賀県病院協会
大津市京町四丁目3-28
(滋賀県厚生会館)
TEL 077-525-7525
http://sbk.co-site.jp/
発行人 会長 金子 隆昭

新年のご挨拶



一般社団法人
滋賀県病院協会
会長 金子 隆昭

新年あけましておめでとうございます。会員病院の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックが宣言されてからまもなく2年が経とうとしています。人類史上初めてmRNAワクチンが開発されて実用化されたこと、また新型コロナウイルスに対する先進的な治療法が開発されて、臨床の現場で利用可能になったことなど、新型コロナウイルス感染症に対する新たな治療戦略が次々と現実のものに

なりました。これらの治療戦略は、今後いわゆる新興ウイルス感染症に対しても応用可能でしょう。しかしながら第6波への対応、そして諸外国では新たな変異ウイルスによる感染の再拡大が起きていることなど、新型コロナウイルスの制圧からはほど遠く、感染症対策の難しさを実感せざるを得ません。

国も地方も新型コロナウイルスと通常医療への対応を両立させると宣言していますが、どうも新型コロナウイルスの専用病床には入院患者がいらないのに、

通常医療を必要とする患者を緊急入院させる病床がなく、救急の現場に混乱を来すようなことが生じています。新型コロナウイルスの第6波に備えて病床を確保しておくことは重要ですが、そのために病床の運用が過度に強直したものになってしまつと、通常医療の崩壊にもつながりかねません。特に例年入院患者が増える冬期においては、新型コロナウイルスの専用病床でも入院患者がいけない時には通常医療を必要とする患者を入院可能とし、新型コロナウイルスの患者が増えてきた時には専用病床としての体制に速やかに移行させるようなフレキシブルな運用が必要なのではないでしょうか。

私の主張

新年明けましておめでとうございます。昨年4月より大津赤十字病院に新米院長として着任し早9ヶ月が過ぎました。着任早々、コロナの第4波、第5波に見舞われ、私にとっては嵐の船出となりましたが、悲観すること

無く前向きに取り組んで行こうと思っています。

私の座右の銘とも言える言葉は「一所懸命」と「塞翁が馬」です。この言葉を選んだ理由を説明するためには、少し私のこれまでの経験をお話ししなければなりません。



に入社したのですが、教授から命令されたのは病理学教室への出向でした。当時の病理学教室は、教

なにしてクリーンに」の達成を目指してベクトルキャップの回収によるワクチン支援や病院車のアイドリングストップなどの活動を行ったり、あるいは12番目の「つくる責任つかう責任」の達成のために、地産地消を意図した病院食を提供したり、災害用備蓄食材を定期利用し賞味期限切れによる廃棄をなくす、といった活動を実践しています。SDGsには日常におけるちょっとした努力や工夫によって達成できるものもあり、多くの病院で既に行われていることもSDGsの目標達成につながるのではないのでしょうか。

第6波がいつくるのか、はたしてくるのかどうかはわかりませんが、会員病院の皆様と力を合わせて新型コロナウイルスに備え、持続可能な地域医療を提供するために努力していきたいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

（彦根市病院事業管理者 兼彦根市立病院院長）

授不在の時期が2年間も続いていたため、人事や研究が停滞していました。そこへ神戸大学から新任

授に在任の時期が2年間も続いていたため、人事や研究が停滞していました。そこへ神戸大学から新任

「一所懸命と塞翁が馬」

大津赤十字病院 院長 小川 修

(病院協会 理事)

の教授が着任されたのです。新任教授の専門は癌（白血球）の分子生物学でしたが、当時の病理学

年頭挨拶



滋賀県知事
三日月 大造

新年あけましておめでとうございます。

本年が希望に満ちた素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。また、この年末年始においても、県民のために仕事をしてくださっている医療関係者の皆様方に、深く感謝申し上げます。

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の陽性者が県内で初めて確認されたから約2年の月日が経とうとしています。昨年は、滋賀県でも非常に緊迫した状況下で差し迫った対応を求められ、病床や人材確保、ワクチン接種の推進といったコロナの対応に奔走した一年でありました。

コロナ患者の受入れ、宿泊療養施設や退院患者への後方支援、COV

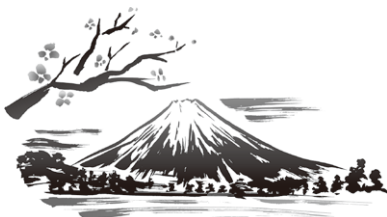
るところです。コロナ禍を乗り越えるには、皆様の御協力力が欠かせません。引き続き、皆様と力を合わせてこの難局を乗り越えていきたいと存じます。

本年は、コロナで損なわれた滋賀県の「健康」を取り戻し、人・社会・自然のすべてが充足した、本来の意味での「健康」を目指してまいります。

その実現のため、すべての県民が自分らしく健康や暮らしを送れるように「こころの健康」の取組を強化してまいります。

また、子どもを産み育てやすい社会を実現させ、子どもたちがたくましく、しなやかに生きていく力を身につけるために「次世代・子ども政策」にも取り組んでいきたいと存じます。

コロナ禍により打撃を受けた地域経済を再生させ、新しい生活様式や新しい価値観が求められる時代にあっては選ばれる滋賀を目指し、「活力ある滋賀づくり」も行っていきます。さらには、昨年のCOP26でも議論さ



天気の良い日が多かったです。しかし、愚痴を言っても天候は変わりません。それならば温泉を楽しみ、スキーを楽しみ、おいしいお酒を楽しんだほうが良いに決まっています。おそらく変な関西人が来たとき秋田の教室員は思ったと想像しますが、覚悟を決めて前向きに頑張れば皆に認めてもらえることも勉強しました。

▼二面に続く

皆さんもいろいろな場所
で働いてこられたと思
います。そこが自分に
とって満足のいく環境で
無いことがほとんどだっ

たと思います。しかし、
その環境に不満を持つ
のでは無く、その場所
で自分の出来る最大の
努力をすれば（一所懸命）

ずと前が開け、ディ
リットと思われたこと
もメリットとして返
くる（塞翁が馬）と信
じています。今はコ
ロナ禍

で病院経営も大変で
すが、この座右の銘を
もう一度心に刻んで
頑張っていきたいと
思います。

年頭と思う

（順不同）



副会長
来見良誠

新年あけましておめ
でとうございませ
う。

新型コロナウイルス感
染症が出現して、足掛
け3年になりました。1
年は未知のウイルスに
対する脅威と不安を抱
きながら二つの大きな
感染ピークに対応し、2
年目には第3・4・5波
の襲来に對峙し、会
員施設の病

院が行政と協力し、コ
ロ



副会長
若林直樹

新年あけましておめ
でとうございませ
う。

2019年の大晦日、
中国武漢で発生した
原因不明のウイルス性
肺炎が世界保健機構
（WHO）に報告され
て以降、今日まで2
年余にわたり、新
型コロナウイルス感
染症によるパンデミ
ック災害が

続いておりませ
う。

滋賀県病院協会にお
いて

WEB会議では、会
場

へ

の移動時間はゼロ
であり、またこれま
での5から10分前
には会場に足を運
ぶといったこと
も気にせず、開
始時間丁度

にクリック一つで
参加できるとい
った効率的な
時間の使い
方が可能とな
った恩恵はあ
りますが、会
議そのものは
いさ

べ

た

り

の

の



理事
由利和雄

明けておめで
うございませ
う。令和4年は、
公益財団法人青
樹会・滋賀八幡
病院が、創立70
周年を迎える
節目の年であ
ります。

病院の歴史を
紐解いてみると、
昭和27年7月16
日の創立当時は、
日本全国が第二
次世界大戦後の
混乱期にあり、
GHQの占領政策
の下、病院の開
設・運営は苦難
の連続でした。

しかし、その
茨の道を物ともせず、
先輩諸氏が逆境
を乗り越え、そ
の後、時々刻々
変化していく
精神科医療に
的確に対応
たいと思
います。

（地域医療機能推進機構
滋賀病院長）



理事
高橋雅士

新年あけましておめ
でとうございませ
う。

この新年号が発
刊される頃には
第6波が始ま
っているのでは
ないかと、オ
ミクロン株など
という変異株
も登場して、
世界中にまた
蔓延していく
のではなか
らうかと、た
だし、オミ
クロン株は変
異部位は多
いようですが、
毒性がどう
うかまでは
現時点ではわ
かってはい
ません。弱毒
化して、本
当の感冒に
なっていく
てくれたら
いいですが、
コロナ騒動
が始まって
から、もう
2年です。当
院は未だ



理事
石田展弥

精神科医療では
おなじみの隔離
という言葉
を、コロナ
対策でよく
目にする
ようになりました。
精神科での
隔離は、感
染症法より
も強制力が
強く、人権
擁護のため
に法的規制
があります。
そもそも
精神科受診
と治療に
は、患者さ
んが、その
家族等、同
意が必要で
す。切迫し
た自殺の危
険性や興奮
状態に、医
師として即
断することは
当然であり、
我々精神科
医も躊躇は
ありません。
しかし、緊
急避難的な
対応が認め
られないの
で、患者さ
んや家族等
の同意がな
い

（琵琶湖病院理事
長・院長）



理事
青木治亮

テレビ電話とリ
モテラシー
昭和58年、小
生の村に緑
色の公衆電
話を設置さ
れた。早速
に岩倉公を
握りしめ、
テレホンカ
ードを、電
電公社を
訪れた。当
時のショウ
ウィンドに
は「テレビ
電話」が展
示されてお
り、ワタク
として眺め
ていた記憶
がある。あ
れから40
余年、これ
ほどに身近
な気持にな
るものと思
いもしな
かった。た
だ、当時の
想像とは異
なるところ
もある。面
前であれば
、相手の表
情を窺い
ながら抑
揚や表現を
逐次変えて
話す。しか
し、画面上
では聞き手
の細かな変
化は見えな
い。自ずと
単純かつ明
快になりが
ちで、どう
しても機微
に触れた会
話は難しい
。故に、今
は止むを得
ないが、こ
の騒ぎが収
まった後の
揺り戻しは必
ず生じると
思う。ただ
、その程度
は個々人によ
って大きく
異なるであ
ろう。これ
に限らず、
意図せず
新しいもの
に直面した
時、多くは
従前のと
本館の改修
整備計画を
推進する予
定です。完
成は3年後
ぐらいです
が、外来診
療機能のさ
らなる拡充
とPFMセン
ター等の充
実を計り、
急性期から
介護まで、
よりいっそ
うの安心安
全の医療を
提供し、地
域医療に貢
献できれ
ばと思っ
ております。
▼三面に
続く

の

の

の

の



理事
三木恒治

大変苦労しま
した。通常
の診療やい
ろいろな整
備計画が滞
ってしまっ
た。今年
はまずコ
ロナで遅
れていた新
外来棟建設

また本年1月1日づけで、本院救急集中治療科の塩見直人部長が滋賀医科大学の救急集中治療科の教授として赴任しました。本院にとっても非常に名譽なこと、塩見先生が滋賀県の救急医療をさらに発展されることを祈念いたします。この場をお借りしまして、会員の皆様方の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
(済生会滋賀県病院長・滋賀県済生会医療福祉センター総長)



理事
井上修平

明けましておめでとうございます。2019年12月に新型コロナウイルスが見つかって2年が経過しましたが、終息するどころか新しい変異株が次から次に発生し世界的なパンデミックが起きています。変異株命名のギリシャ文字は足りるのでしょうか？この会報が発行される頃には日本でも第6波の真ただ中かもしれないかもしれません。その中でもコロナワクチンの3回目接種とごんごん開発され承認・使用開始となって



理事
一山智

滋賀県病院協会の皆さま、新年おめでとうございます。昨年はコロナ禍の中、皆さまには大変お世話になりました。本年もよろしく願い申し上げます。当院は滋賀県立成人病センターとして発足以来、昨年で50年を迎えました。開設年度には滋



理事
松岡俊樹

新年あけましておめでとうございます。薄明かりが射してきたようすが、まだまだ気の抜けない状況で新しい年を迎えていることと思います。当院では昨年4月に2週間ほど新規入院を停止させていただきましたが、ほぼ診療を継続することができました。ご指導ご助言、ご協力をいただき



理事
鈴木聡

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の中、パリンピックが行われました。たくさんの方の感動を日本中に与えてくれました。私もある選手との関係から車いすバスケットボール



理事
楠井隆

旧年12月上旬現在新型コロナウイルスに関する滋賀県内も落ち着いた状態となっている。ワクチン、抗体療法、ステロイドその他の治療



理事
横田徹

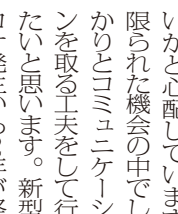
新年あけましておめでとうございます。2019年に始まったわが国のコロナ禍は、昨年夏から秋にかけてワクチン接種がすすみ、感染者が激減しました。皆さまにおかれましては、穏やかな新年を迎えておられる事と存じます。

8月の第5波では当初の予想を大きく越える感染拡大となりましたが、幸い滋賀県ではコントロールセンターや受け入れ病



理事
仲成幸

新年明けましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨



謹んで新春のお慶を申し上げます。皆様におかれましては、良い一年となりますように、祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

舞い、ばらまきであったコロナ対策が終了した時、それに依存していたというところではあるが、今年はいつものに増して気合を入れたい。受領行動の変化、地域医療構



理事
五月女隆男

あけましておめでとうございます。2020年2月に端を発したコロナ禍もひと段落しているところではありますが、新年早々第6波の到来が予想されており、戦々恐々と事態を見守っておりますが、滋賀県も病院が完成予定で、利用者の方々の利便性が向上するものと考えております。病院協会の方々にはご助言をいただくこともあろうかと存じます。本年もよろしくお願い申し上げます。



理事
田中俊宏



今年の王支は「壬寅（みづのえとら）」で、ゆったりとした優しくて才気煥発な虎を示すそうです。お祈り申し上げます。昨

（日野記念病院院長）





理事
辻川 知之

コロナと共に過ごす中で
のがん診療強化
新年明けましておめで
とうございます。昨年の
今頃は、『コロナ禍から
の脱却を夢見ていまし
た』が、1年経った今も
『オミクロン株次第でど
うなるやら』です。つま
り我々は2年近く経って

もコロナウイルスから理
屈立てて学ぶことはでき
ず、今後も確かなことは
何もないのです。そこで
令和4年を迎えるにあた
り思うことは『もはやコ
ロナを特別視したり一過
性のものとみなすのはや
めよう』です。政府はコ
ロナなど新興感染症等の



監事
白山 武司

中島敦の小説に「山月
記」がある。主人公の李
徴が己の理と才におぼ
れ、虎の獣性に身を落と
していく物語である。今
や近隣でも大国の対立か
ら戦争の気配がかすかに



監事
高折 恭一

あけましておめでと
うございます。令和4年も
オミクロン株感染拡大な
どによりCOVID-19
の影響は続き、病院経営
にとっては難しい年にな
りそうです。一方で、明
るい話題もあります。ワ
クチン接種やCOVI
D-19専用病床などの運
営において、多職種・多
領域の連携が従来以上に
重視されていることで

感染拡大時における医療
として6事業目とするこ
とを検討しています。さ
らに踏み込んで『コロ
ナ診療』を今後も普通に
存在する医療分野の一つ
として扱うべき時期にき
たのだと思います。コロ
ナ禍からの脱却はもはや
幻想として捨て去り、ウ
イズコロナを日常診療の
世界として受け入れるな
らば、本来病院が力を注
ぐべき分野のがん診療は
この2年間にいかにおさ
りにされていたかが見え
る。しかし、これらの
危機も一触即発とまでは
いかず、今ひと時の猶予
はあるだろう。歴史に残
るパンデミックも、14世
紀の黒死病など少数を除
いてほとんどは3年で
いったん終息している。
となれば今年は、隙間
を埋めるような小春日和
と期待したい。補助金は
なくなり患者数は戻らな
くても、コンビニ受診が
減るのは良いこと割り
切り、私たちの病院では
がんを中心とした手術
脳・心血管疾患の急性期
治療をさらに充実させ、
また病院協会を通じた役
割調整も踏まえて、コロ
ナ後の少子高齢化社会と
働き方改革に対する準備
に取り掛かりたい。
(近江八幡市立総合医療
センター 院長)



ERASでは、エビデン
スに基づいたプロトコ
ルにより周術期管理を行
い、術後早期回復を進め
ることを目的としてお
り、コメディカルスタッ
フとの連携を重要視して
います。当院では、チー
ム医療をさらに前に進め
るため、今年からERAS
を導入したいと考えて
います。
さて、私事になりますが、
が、本年7月7～9日に
は、京都国際会館におい
て、第33回日本脾臓学会
大会（第26回国際脾臓学
会と合同開催）を主催さ
せていただくことになり
ました。大会テーマは、
「二期一会・脾臓学の新
たな地平を目指して」で
す。患者さんとの出会い、
その一瞬一瞬を大切にす
る。一期一会の心が、チー
ム医療の原点だとも言え
ます。コメディカルセッ
ションを設けており、国
内外の医療従事者が一同
に集い、自由闊達な議論
をする場にしたと考えて
います。本年もどうぞ
よろしく願っています。
(市立長浜病院院長)



「令和3年度 感染管理・感染 防止対策研修会」を開催して

大津赤十字病院

感染制御認定臨床微生物検査技師

木田 兼以

新型コロナウイルス感
染症（COVID-19）
も少し落ち着いてきた10
月9日、滋賀県感染制御
ネットワークでは「令和
3年度 感染管理・感染
防止対策研修会」をWe
bにて開催した。テーマ
は昨年に引き続き「CO
VID-19」で、4名の
講師の方にそれぞれの職
種で知識や経験から共有
できる事や課題、また治
療戦略と最近の話題まで
幅広く講演して頂いた。
最初に、滋賀医科大学
設で工夫されている内容
を教えていただいた。次
は、「陰圧室がない一般
病院での患者受け入れ体
制の構築」について看護
師の立場から市立野洲病
院ICN本城先生に講
演いただいた。多くの施
設が、パンデミックがお
こり患者が急増する中で
待ってはもらえず、いろ
んな経験をされたと思う
そんな中特に、2類感染
症相当のゾーニング対
応は大変だったと思う。
それらを経験された、一
般病院での体制構築と患
者受け入れから実際の対
応について、施設での現
状と対策・課題などを分
かりやすくお話しした
いた。最後に、京都大学
医学部附属病院 検査部・
感染制御部、京都大学大
学院医学研究科 臨床病
態検査学 土戸康弘先生
に「薬物治療戦略と最近
の話題」についてご講演
いただいた。まず初めに
COVID-19における
基本的な感染対策につい
て、再認識させていた
だ

令和3年度 第1回医事研究会に参加して



宇田 喜輝

令和3年度 滋賀県病院協会 医事研究会役員
一般社団法人 水口病院 事務部主任

令和3年10月27日、W
EB配信にて医事研究会
の研修が開催されました。
コロナ禍での医事研究会
として、初の試みで病院
協件事務局よりWEB配
信となりました。講師に
は株式会社ウィズネスの
本田妃世先生をお招きし
て開催された。今回は、今
の時代の接遇マナーとコ
ミュニケーションと題し
て、現場力を高めるこ
とをテーマに研修が行わ
れた。医療機関の窓口では、
患者様を含むたくさんの
方々が来院される。その
中で、来院者にあわせた
「接遇」が重要となる。
医療機関の「安心・安全」
また、スタッフ間の情
報共有・引継ぎを確実に
することも大切になる。
そもそも、コミュニケー
ションの大前提として私
たちは完全な意思疎通は
出来ない。そのため、何
かを伝える時に大切な
は、(1)簡潔にわかりやす
く話す (2)印象深く話す
(3)声のトーンを少し高く
する (4)強調部分をゆっ
くりとまたは間を空けて
話す。これにより相手が
聞き取りやすくなる。不
満・怒りを伴う相手へは、
柔らかくお断りし続ける。
受け入れてもらえば感謝
の言葉でクロージングす
る。納得が得られなけれ
ば時・場所・人を変える。
お断りをする時の話法…
クッション言葉＋語尾
依頼形＋マジックフ
レース(感謝の言葉)
クッション言葉とは「失
礼ですが」「恐れ入りま
すが」「申し訳ございま
せんが」「あいにくですが」
等が適切である。このクッ
ション言葉をはじめに添
えることで相手が説明を
受けとりやすくなる。お
辞儀も、気持ちに対して
角度をかえることで伝わ
りやすくなる。挨拶言葉
とお辞儀の使い分けで、
その場の対応が変わる。
挨拶とお辞儀は同時に
行う「同時礼」は、急い
でいる場面に使用すると
よい。挨拶言葉を述べて
からお辞儀を行う「分離
礼」は、深い感謝や陳謝・儀



研修会の様子



令和3年度 滋賀県病院協会 医療安全対策研修会を受講して



友仁山崎病院
医療安全管理者(薬剤師)
塚本 洋子

滋賀県病院協会の先生方におかれましてはコロナ禍における院内対策にご多忙な日々をお過ごしのことと心よりお察し申し上げます。

さて、去る令和3年11月30日、滋賀県病院協会主催の医療安全対策研修会が本年もWeb開催されました。当院からも医療安全委員会のメンバー共々参加させて頂き貴重な講演を拝聴致しましたので、ここに報告させて頂きます。

滋賀県病院協会会長(彦根市立病院長)金子隆昭先生のご挨拶に始まり、同協合理事医療安全担当(滋賀医科大学医学部附属病院 病院長)田中俊宏先生のご挨拶のあと、第一部は「医療事故調査制度に係る研修会」、第二部は「医療安全対策研修会」として構成されておりそれぞれのお立場からご講演を賜りました。

第一部講演では滋賀県医師会副会長 高橋健太郎先生より「医療事故調査をめぐる諸課題」と題され、制度の対象となる医療事故かどうかの判断に迷う点に焦点を当て具体的な事例を提示して説明されました。判断のポイントとは①医療に起因しているか、②予期してい

プロセスに「後工程はお客様」という品質を担保する仕組みがありますが臨床現場においてもそれぞれの職域の責任のもと正確な情報を伝達するプロセスの整備も見直していく必要性を感じます。

第二部講演Ⅱでは滋賀県健康医療福祉部医療政策課主幹 井出徹哉様より「医療安全相談室の運営について・令和2年度医療安全相談の現状について」報告されました。

滋賀県医療相談室における令和2年度の延相談件数は685件であり1日平均2.9件と過去最高であったとのことでした。その内訳から医療行為・医療内容、コミュニケーション関連の他、医療機関のコロナ感染対策に対する不信感など様々な案件を知る機会となりました。多種多様な案件には期待通りの医療が受けられなかったことに対する苦情も多数見受けられ医療者側との間の対応に大変な苦勞を感じました。

今回の研修も今後の医療安全活動に大変参考にさせていただけの内容でした。自院においても「人・物・組織・ソフト」の面からもリスクの低減に向けた取り組みを進めていきたいと思っています。

最後にこの研修会を企画担当して頂きました滋賀県病院協会の先生方や関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

令和3年度 院長・事務長研修会を開催して

「医療者は、なぜLGBTQについて知る必要があるのか」
「待ったなしの医師の働き方改革」



滋賀県病院協会事務部長部会
部会長 野崎 孝志
(彦根市立病院 事務局長)

令和3年10月29日(金)午後1時30分から、令和3年度院長・事務長研修会をWEB会議で行いました。滋賀県病院協会では、金子隆昭会長、第一部の人権研修の座長石田展弥理事、全体司会の岡耕二事務長部会副部会長、第二部の働き方改革研修の座長野崎、閉会挨拶をしていただいた高野早人事務長部会副部会長、北村博史事務局長が集まり、

参加者は51病院134名でした。本研修を主催した者として慣れない部分もあり、ご迷惑をおかけしたこともあったかもしれませんが、お詫び申し上げます。

第一部の人権研修は、NPO法人QWRCC理事 桂木祥子様から「医療者は、なぜLGBTQについて知る必要があるのか」をテーマに講演をいただきました。



滋賀県立総合病院
脳神経内科科長 長谷川浩史

令和3年度 第18回病院医療機能 評価受審フォーラムを受講して

令和3年11月19日、滋賀県病院協会主催による「第18回病院医療機能評価受審フォーラム」が開催されました。今回は、コロナ禍の影響で、初めてWebでの開催となりました。地理的制約が軽減されたためか、県外50病院を含め前回に比べて2倍以上の448名が受講されました。

はじめに、飯村裕一朗氏(評価事業推進部)より、病院機能評価の概略と現況の説明があり、2021年10月現在、全国の病床200,499床規模の病院では42.2%、500床以上では78.3%が認定を受けており、中でも滋賀県は全病院数の39.6%が認定済みで全国一(全国平均25.1%)であることが紹介されました。

続いて、診療(飛田規氏・看護(市川智恵子氏・事務管理(戸根経夫氏)部門の各サベ

しないため、恐怖や負担を感じられ、院内での何気ない言葉がLGBTQの方を傷つけてしまうことを意識していただく」と話されました。次に労務管理上もLGBTQの方を意識したトイレ、更衣室の設置にも配慮が必要で、このように患者さんだけでなく、職員にも配慮することが必要と指摘されました。以上が、第一部人権研修の内容です。彦根市では県内で初めて「パートナーシップ宣誓制度」を導入し、性的マイノリティに関する患者さん、職員への理解が進み、一人ひとりが相手手を思いやり、多様な価値観を認め合う社会を実現できるよう、私たちに何ができるのかを考えていかなければならないと痛感しました。

続きまして、第二部働き方改革研修では、ハイズ株式会社代表 裴英洙様から「待ったなしの医師の働き方改革」をテーマに講演いただきました。裴様は、令和元年10月にも本研修会で講演いただき、丁寧でわかりやすい内容で、再度講演を聞きたいという希望が多く実現することになりました。どの病院も令和5年度中にB/C水準の指定を完了し、令和6年4月から新たな時間外労働規制を適用することになります。今年度中に「医師労働時間短縮計画」を策定する必要があります。そこで副業・兼務先の時間外労働の管理をどうするかという課題があることを指摘されました。宿日直に大学医局から医師の派遣をお願いしている

院においても同じことが言えるというわけです。健全でより良い医療を提供するという病院本来の使命を果たすには、病院機能評価受審は、ゴールではなく、継続のためのモチベーション・方向性の指標とすべきものであると感じました。

また、2023年4月より運用開始の予定のver.3.0では、現在一般病院3(特定機能病院)対象に行われている、病院幹部面談、カルテレビュー、医療安全ラウンドが一般病院1、2でも適用されるなどの変更が予定されており、更に充実した機能評価を予定されているとのことでした。



受章おめでとうございます

◆令和3年度健やか親子21全国大会における各種表彰について（3種類）
令和3年11月4日（オンラインにて配信）

★令和3年度健やか親子21全国大会における母子愛育会会長表彰
（母子保健功労者）表彰の受賞



滋賀医科大学医学部
附属病院 助産師
中井 愛氏

★令和3年度健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）における公益社団法人母子保健推進会議会長表彰受賞



滋賀医科大学医学部
医学科小児科学講座
特任教授
竹内 義博氏

★令和3年度健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）における一般社団法人日本家族計画協会会長表彰受賞



高島市民病院
副看護部長（助産師）
岡田 裕子氏

◆令和3年度滋賀県精神保健福祉事業功労者表彰（3種類）
令和3年11月12日（於：滋賀県公館）

★厚生労働大臣表彰受賞



滋賀八幡病院
地域医療連携部部長
伴 承子氏

★知事表彰受賞



一般社団法人水口病院
看護師
中島 京子氏

★精神保健福祉協会表彰受賞



公益財団法人
青樹会滋賀八幡病院
副院長
濱名 優氏



公益財団法人豊郷病院
看護部長
古田 成年氏



一般社団法人水口病院
看護師
保井由己子氏

『憩いのひととき』

令和3年12月4日、当院外来待合ロビーにおいて滋賀県病院協会・滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール協働による『ホスピタルコンサート』を開催させていただきました。

当院では、毎年恒例で『憩いのひととき』と名付け年に一度、楽器演奏や民謡、弾き語りなど多数の方にお世話になり開催しておりますが、昨年度はコロナウイルス感染症拡大の影響により中止となっております。

今年度も開催が難しいかと悩んでいたそんな折、滋賀県病院協会よりコンサート希望の案内を頂戴し今回に至りました。

コンサート当日は感染症減少傾向とはいえ、まだまだ感染防止対策が必要な状況で、30分程度の短い時間のコンサートとなりましたが、フルート奏者の小林千晶さん、山

本梨奈さんの息の合った二重奏で演奏いただきました。曲目は冬の童謡『ドレー・クリスマスソングメドレー』と季節に合ったものからスタートし、終盤には聞きなじみのある、いい日旅立ち・見上げてごらん夜の星ををアレンジした全9曲演奏いただきました。優しく柔らかな清澄なフルートの音色に心浸らせ、コロナ疲れも癒されるひとときを過ごさせていただきました。

来場者の方からは、とても感動して涙が止まらなかった、一緒に口ずさんで楽しく歌った等、と感謝の言葉を頂戴し、開催できたことを本当に喜ばしく誇りに思いました。今回コロナ禍においての開催となりましたが、演奏者のお二人様、ご来場いただきました皆様、びわ湖ホールスタッフの



ホスピタルコンサートの様子

病院協会今後の行事予定

- 1月14日(金) 令和3年度第2回医事研究会
- 1月19日(水) 令和3年度第9回理事会
- 1月20日(木) 令和3年度看護部長部会研修会
- 2月6日(日) 病院協会県民公開講座の開催
- 2月12日(土) 病院協会臨床研修指導医講習会
- 2月16日(水) 令和3年度第10回理事会
- 2月18日(金) 令和3年度近畿病院団体連合会第2回委員会
- 3月10日(木) 看護部長部会第4回委員会
- 3月22日(火) 令和3年度第3回医事研究会
- 3月23日(水) 令和3年度第11回理事会

きたいと思います。ありがとうございました。

東近江敬愛病院
事務次長 谷 佐敏

滋賀県病院協会県民公開講座の開催について（Web研修）
開催日 令和4年2月6日(日) 13:30～15:20
配信会場 一般社団法人滋賀県病院協会 事務局 会議室
講師 京都府立医科大学 救急医療学教室 教授 太田 凡 先生
演 題 「救急医療の実際 医学科講義で学生に伝えていること」

感染管理認定看護師の育成

滋賀医科大学医学部附属病院 看護部／感染制御部 看護部長
感染管理認定看護師 竹村 美和

感染制御ネットワークだより

(63)

COVID-19のパンデミックにより感染対策の重要性が注目され、感染管理を担う看護師へのニーズが高まりました。

感染管理認定看護師は自施設のCOVID-19関連の対応だけでなく、クラスター発生の感染対策の確認や介護老人福祉施設等を対象とした研

修の開催など、活動の場と機会が一気に増えました。

感染管理認定看護師は2001年から認定が開始され、日本看護協会のホームページによると12月15日現在滋賀県では37名が登録されています。

認定看護師には、実践指導、相談の3つの役割があり、感染管理は組織横断的な活動が求められる。院内のみならず、行政との連携や地域での活動も重要となります。

2010年度からは特定行為を組み込んだ新たな枠組みによる研修（B課程）が開始となりました。

今年度、B課程の教育は日本看護協会看護研修学

校（東京・清瀬市）と日本看護協会神戸研修センター（兵庫・神戸市）の2カ所、特定行為研修を含まない既存のA課程（2026年度で終了）は全国4カ所で教育が行われています。

厚生労働省が推進している「特定行為に係る看護師の研修制度」の受講環境を整え

るためB課程の教育課程を開講する動きが広がりつつある中、さらにCOVID-19の影響もあるのか、来年度はさらに教育機関が増える予定です。

11月から12月にかけて、感染管理認定看護師を目標として研修中の実習生が滋賀県内の3つの病院で実習を行いました。当院でも2名が実習を行い、介護施設への出前研修や感染防止対策地域連携加算に係る相互チェックに参加させていただきました。

ご協力いただいた施設の皆様にはこの場を借

りてお礼申し上げます。

実習では、医療関連感染サーベイランスや職員対象の研修を行ったり、感染管理に関する相談対応についてレポートにまとめたり、水や空調の管理について施設課の方から説明を受けながら見学するなど、感染管理認定看護師の活動の実際を学び、また、所属施設の感染管理における課題とその対策について実習前に作成した「感染管理プログラム」をより実践可能なもの修正していただきました。

B課程ではさらに、特定

行為の実習も行われるため、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）のラウンドや診療科のカンファレンスに参加しながら抗菌薬投与症例についてまとめました。実習期間中に県内の感染管理認定看護師等による情報交換会をWebで行い、そこにも参加してもらって連携の実際を見て感じてもらいました。

まだまだ感染管理の課題が多い当院ですが、実習生と一緒に指導する側も多くの学びがあり、たくさん刺激を受けました。



新年あけましておめでとうございます

令和4年 元旦

一般社団法人
滋賀県病院協会
（役員一同）

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 会長 | 金子 隆昭 | 理事 | 石田 展弥 | 青木 治亮 | 高橋 雅士 | 三木 恒治 | 井上 修平 | 松岡 俊樹 | 一山 智 | 鈴木 聡 | 楠井 隆 | 横田 徹 | 仲 幸 | 五月女 隆男 | 田中 俊宏 | 辻川 知之 | 小川 修 | 白山 武司 | 高折 恭一 | 横井 昭次 | |
| 副会長 | 来見 良誠 | 若林 直樹 | 由利 和雄 | 石田 展弥 | 青木 治亮 | 高橋 雅士 | 三木 恒治 | 井上 修平 | 松岡 俊樹 | 一山 智 | 鈴木 聡 | 楠井 隆 | 横田 徹 | 仲 幸 | 五月女 隆男 | 田中 俊宏 | 辻川 知之 | 小川 修 | 白山 武司 | 高折 恭一 | 横井 昭次 |

外部監事